

# シンプルな形と落ち着きのある色——モダンな家具やアートと組み合わせることで引き立つ、和のアンティークの魅力

## アンナ・ヘンリケスさん



多彩な素材から独自の作品を創り出すアンナさん。日本に来てから興味を持った素材はなんと「煮干し」。リビングに飾られた3点の運作はすべて煮干しをアクリルで固めて着色したもの。

ジャマイカ生まれのアーティスト、アンナ・ヘンリケスさん。アメリカで美術を勉強した後ロンドン、ニューヨークと移り住み、昨年9月にご主人の転勤に伴って来日されました。アトリエ兼自宅であるこの住まいは、メゾネット形式のマンション。室内にはモダンなデザインのソファやアームチェア、自作のアートなどにまじってシンプルな和や李朝のアンティーク家具があちこちに配られています。「これまで使っていた家具は日本の家にはサ

イズが合わなかったので、すべて日本で購入しました。和のアンティーク家具は今まで使ったことはありませんでしたが、シンプルなラインや木の質感に惹かれますね。西洋のアンティーク家具よりも使いやすく感じます。」古い蔵の扉をセンターテーブルとして使ったり、米びつをコーヒーテーブルにしたり、火鉢をランタナーにしたり。個人的なアイテムも工夫して使いこなす、そんな自分らしいスタイルの作り方は参考にしたいものです。



### 小物やグリーンと組み合わせて和や李朝の家具を使いこなす

右上・リビングの窓際にはサイドボード代わりに李朝の箆箱を置き、コーナーをしつらえている。手前、グリーンを載せているのは古い将棋盤。  
右下・同じくリビングの一角にある李朝箆箱。電話台として使っている。  
左上・古い火鉢をグリーンプランターに。意外な使い方が新鮮な印象。  
左下・和家具とシルバー——見相反する2つの要素は実は相性がよい。



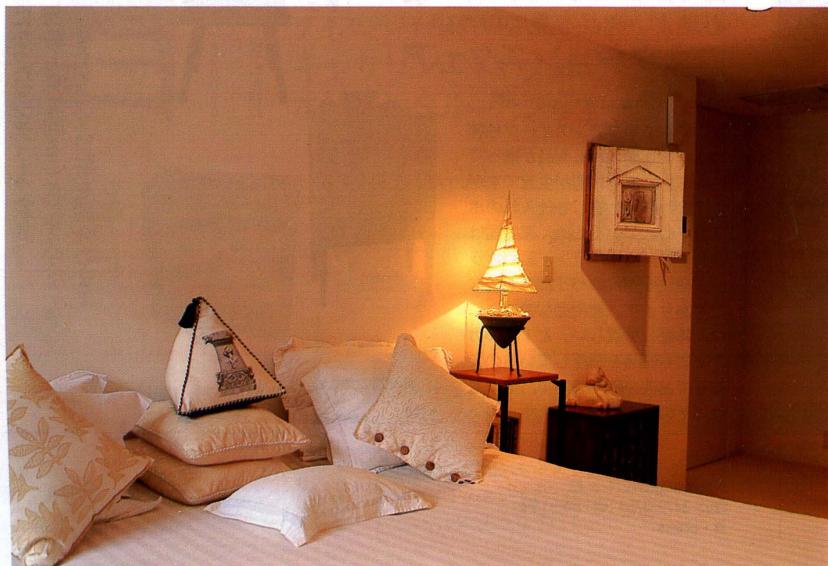
### 古い蔵の扉を活用したダイナミックなテーブル

リビングの半分はフロアスタイルのしつらい。中央のテーブルは行きつけのアンティークショップ、キャサリン・マイラン・オリエンタル・アンティークスで購入した古い蔵の扉に、東急ハンズで買った材木で脚を付けたもの。



### 個性的な家具やアートと調和する和箆筒の不思議

プリント地のソファ、ベルベットのアームチェア、自作のアート。  
ここに加えた和箆筒がシンプルだからこそ、空間がまとまりを持つ。



### 和家具の機能性は寝室にも応用できる

左・見かけの美しさだけでなく、収納力にも優れているところが和家具のもう一つの魅力。ナイトテーブルの代わりに薬箆筒を活用。上・ベッドの足元に置いた箆筒は、リネン類の収納に活躍している。右上・細かい引き出しのついた薬箆筒はアクセサリの分類に最適。